

○新型コロナウイルス感染症

○証明書等発行手数料のキャッシュレス化

○仕事と育児の両立に向けた取組状況

新規陽性者数と前週同曜日比の推移

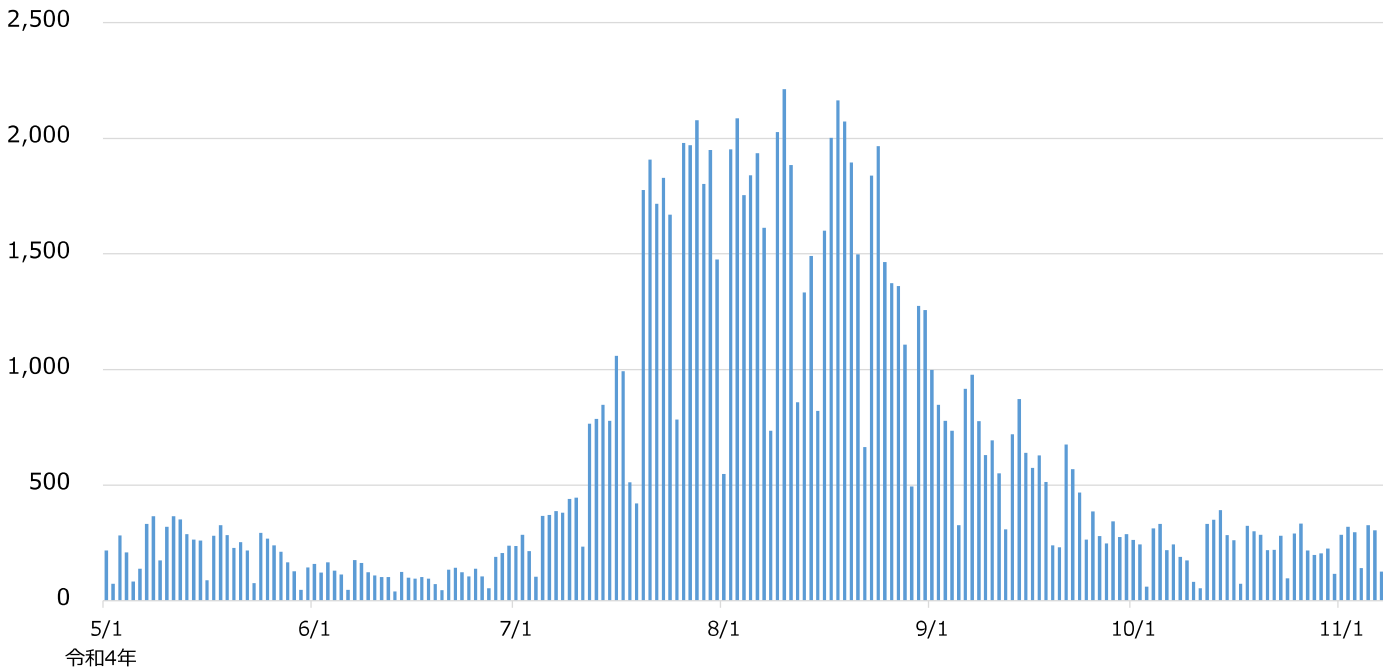
日	月	火	水	木	金	土
10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22
261	73	325	300	285	219	221
1.50	0.89	6.02	0.90	0.81	0.56	0.78
10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29
281	97	290	334	217	198	205
1.08	1.33	0.89	1.11	0.76	0.90	0.93
10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5
225	116	285	320	297	141	326
0.80	1.20	0.98	0.96	1.37	0.71	1.59
11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12
305	126	-	-	-	-	-
1.36	1.09					

月日
新規陽性者数（人）
前週同曜日比

※国による新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しにより、令和4年9月27日公表分からの新規陽性者数は、堺市保健所で把握する陽性者数（堺市内で療養されている方など）から堺市内の医療機関で判明した陽性者数に変更となりました。なお、医療機関を受診せず、抗原定性検査キット等での自主検査で陽性となった方は新規陽性者数に含まれません。

新規陽性者数の推移

■ 新規陽性者数
(人)



※国による新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しにより、令和4年9月27日公表分からの新規陽性者数は、堺市保健所で把握する陽性者数（堺市内で療養されている方など）から堺市内の医療機関で判明した陽性者数に変更となりました。なお、医療機関を受診せず、抗原定性検査キット等での自主検査で陽性となった方は新規陽性者数に含まれません。

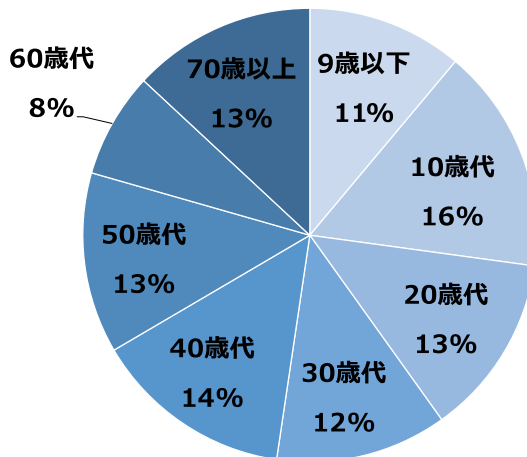
堺シグナル・モニタリング

○11月7日現在

直近1週間人口10万人あたり新規陽性者数

直近1週間の新規陽性者年齢構成割合

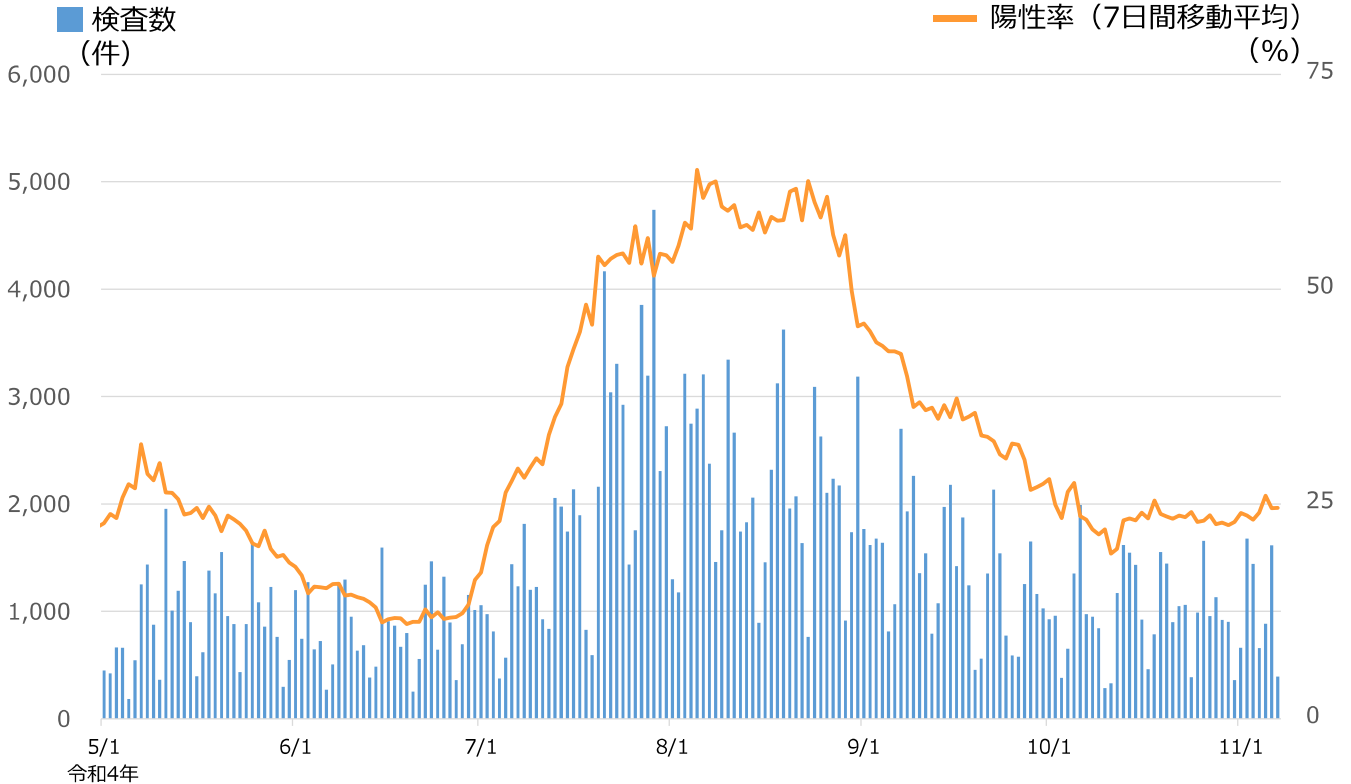
堺市



	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7
堺市	193	192	201	194	209	219	220
大阪府	205	214	229	221	237	248	250

※上記矢印は、当日と前日の指標（直近1週間人口10万人あたり新規陽性者数）を比較した場合の増減傾向を表しています。
 ※直近1週間新規陽性者年齢構成割合は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※直近1週間人口10万人あたり新規陽性者は、小数点以下を四捨五入しています。ただし、0.5未満は1とし、0の場合のみ0と表記しています。
 ※国による新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しにより、令和4年9月27日公表分からの新規陽性者数は、堺市保健所で把握する陽性者数（堺市内で療養されている方など）から堺市内の医療機関で判明した陽性者数に変更となりました。なお、医療機関を受診せず、抗原定性検査キット等での自主検査で陽性となった方は新規陽性者数に含まれません。

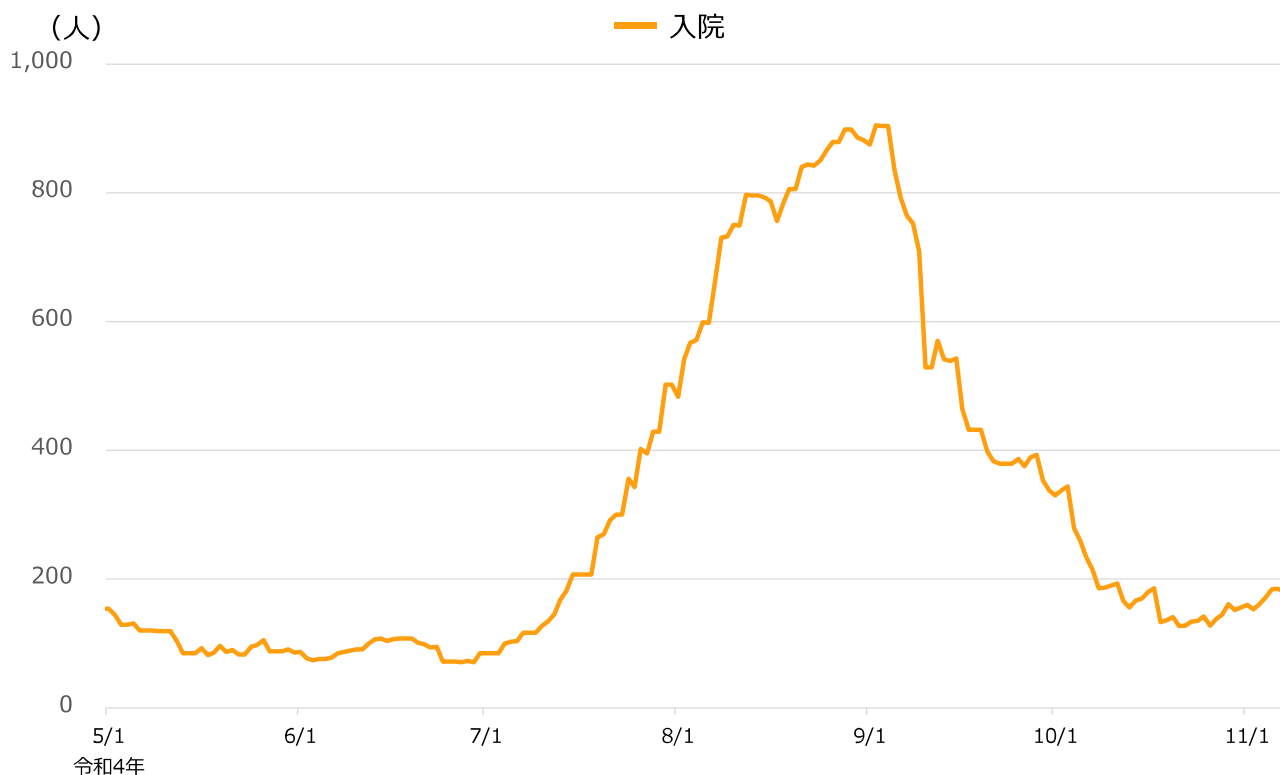
陽性率と検査数の推移



※国による新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しにより、令和4年9月27日公表分からの新規陽性者数は、堺市保健所で把握する陽性者数（堺市内で療養されている方など）から堺市内の医療機関で判明した陽性者数に変更となりました。なお、医療機関を受診せず、抗原定性検査キット等での自主検査で陽性となった方は新規陽性者数に含まれません。

重症者数の推移





11月8日市長定例記者会見

ワクチン接種

VRSによる接種者数・接種率（11月8日 午前9時現在）

接種区分	全体		65歳以上（[]内は60歳以上）	
	1回目	654,093人	82.1%	224,908人
2回目	650,803人	81.7%	223,940人	95.6%
3回目	503,035人	63.2%	211,674人	90.4%
4回目	251,028人	33.6%	185,511人 [206,932人]	79.2% [75.0%]
オミクロン株 対応ワクチン	48,380人	6.5%	12,649人	5.4%

※全体の接種率は、令和4年1月1日時点の次の人口を母数として算出しています。

・1～3回目接種：5歳以上

・4回目接種・オミクロン株対応ワクチン接種：12歳以上

※3・4回目接種数には、オミクロン株対応ワクチンの接種数を含みます。

11月8日市長定例記者会見

○証明書等発行手数料のキャッシュレス化

現状・主な課題

約60万件の住民票等発行手数料が現金支払い

窓口手続の待ち時間緩和や利便性向上

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

証明書等発行手数料の支払いに
キャッシュレス決済を導入

堺区市民課でモデル実施（令和4年11月28日から）
利用状況を検証し他区への拡大を検討

キャッシュレス決済手続きの流れ

堺区市民課で発行する**全ての証明書等発行手数料**の支払いが
キャッシュレス決済可能に（より便利に手軽に）

STEP1

支払い窓口でキャッシュレスを選択

STEP2

お持ちのスマートフォン等を決済端末にかざす

STEP3

支払い完了（セミセルフレジでの現金支払いも可能）

【対象】

- ・住民票の写し、印鑑登録証明書など（25種類）

【キャッシュレス対応】

- ・電子マネー決済、クレジットカード決済

※準備が整い次第、二次元コード決済などのキャッシュレス対応を順次拡大



○仕事と育児の両立に向けた取組状況

市長の取組状況

組織のトップとして 市長が仕事と育児の両立を実践

期間	当初予定		実績	
8月13日から 10月12日まで 【出生後8週間】	終日テレワーク	2回/週	終日テレワーク	1回/週
	半日テレワーク	3回/週	半日テレワーク	2回/週
	合計	3.5日/週	合計	2.0日/週
10月13日から 現在まで 【9週以降】	-		半日テレワーク	2回/週
			合計	1.0日/週

※ 土日祝を除く。

男性職員の仕事と育児の両立を推進 (令和4年10月から)

フレキシブル・ワークの導入 (※1)

テレワークの要件緩和 (※2)

育児休業の取得促進 (※3)

	目標取得率 (令和8年度)
男性育児休業	80%
堺モデル	概ね100% (※4)

- ※1 1歳未満の子を育児する職員は、1日単位で所定の勤務時間以外の勤務時間を選択できる制度。
- ※2 1歳未満の子を育児する職員は、原則週2回以内の回数制限を緩和。
- ※3 育児休業の分割取得は、地方公務員育休法等の改正に伴うもの。
- ※4 取得率は、育休取得対象者の男性職員のうち、フレキシブル・ワーク、テレワーク、育児休業のいずれかを取得した者を対象として把握 (目標値は堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画で設定)。